



# 迎春



長崎市議会議長

野口達也

## 将来に向けた長崎市の まちづくりのために

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、平和を願う人々の長年の努力が実を結び、国連本部において核兵器禁止条約が採択され、核兵器なき世界という目標に向けた重要な一歩が踏み出されました。また、オランダ王国ライデン市との姉妹都市提携調印式や出島表門橋完成記念式典が行われるなど、日蘭交流のさらなる発展により、世界とのつながりを実感することができました。

本年は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録の可否が、ユネスコ世界遺産委員会において審議されます。これまでご支援いただいた関係者の皆さま、登録を待ち望んでいる市民の皆さまの想いが現実のものとなることを期待し、登録に向け行政と一体となって推進いたします。あわせて、歴史や文化など長崎が持つさまざまな魅力を国内外へ積極的に発信することにより交流人口の増加を図ります。

市議会におきましては、昨年、「九州新幹線西九州ルート整備促進に関する意見書」を国会および関係行政庁へ提出し、山陽新幹線への直接乗り入れを実現することおよび全線フル規格化を視野に入れた検討を進めることを強く要望いたしました。将来の長崎市のまちづくりを左右する極めて重要な課題の一つですので、引き続き全力で取り組んでまいります。

また、市民の皆さまに市議会の動きをお届けするため、議会中継やホームページ、市議会だよりなどさまざまな媒体を活用し、迅速でわかりやすい情報発信に努めてまいります。

平成30年が、皆さまにとりまして、飛躍の年でありますよう心からお祈りいたします。

## 21世紀の 交流都市に向けて

新年おめでとうございます。健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、目指す将来の都市像である「個性輝く世界都市」の形が見えはじめた年でした。まず、核兵器禁止条約が国連で採択されたことは核兵器廃絶に向けた大きな一歩です。さらに、出島において、明治時代に失われてからおよそ130年ぶりに、最新技術を用いた「出島表門橋」の架橋が実現し、長崎独自の歴史と文化を国内はもとより世界に発信することができました。

また、もう一つの目指す都市像である「希望あふれる人間都市」の実現に向けた取り組みの一つとして、暮らしやすいまちを将来にわたって維持していくために、地域センターや総合事務所を設置するなど、地域と連携する市役所のしくみを整えました。

今年、長崎市では、「2つの世界遺産があるまち」という夢を実現しようとしています。平成27年の「明治日本の産業革命遺産」の登録から3年、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録の可否が夏には決定されます。

今、長崎市では2022年の新幹線開業のほか、複数の大型事業が並行して進むなど、まちの形が大きな変化を遂げようとしています。特に、今年は、長崎駅の隣接地への「交流拠点施設」の整備や、新市庁舎の実施設計、まちの中で長崎らしさを感じられる景観づくりなど、次の時代に向けたまちづくりについて、より具体的な形がみえてくる年になります。

さらに、V・ファーレン長崎のJ1リーグ参戦も大いに長崎を盛り上げてくれると思います。市民の皆さんと一緒に応援したいと思います。

新しい年が希望に満ちあふれた一年となりますよう心からお祈りいたします。



長崎市長

田上富久